

尾瀬と TEPCO 尾瀬の生物多様性

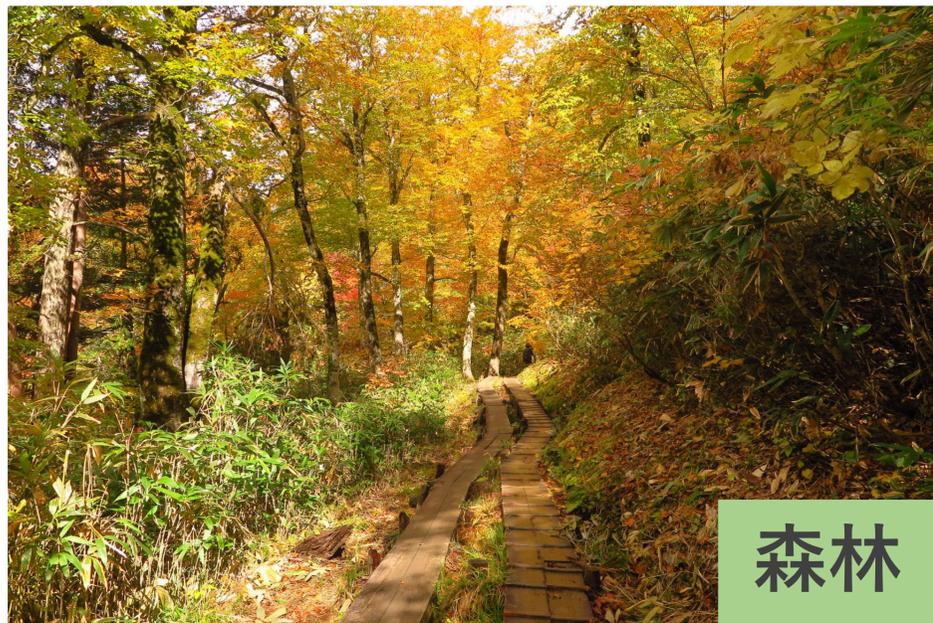
15 陸の豊かさも
守ろう



尾瀬の多様な生態系が、多種多様な生物相を育んでいる

尾瀬の生物相はとても豊かです。植物の種類は1,000種を超え、哺乳類は約35種、鳥類は約160種、トンボは約40種など、多くの生き物が確認されています。そのうち尾瀬で発見され「オゼ」と名のつく植物は約20種、動物は約20種発見されています。

尾瀬の多様な生態系は、気候や地形など様々な自然環境と長い時間の中で形づくられています。



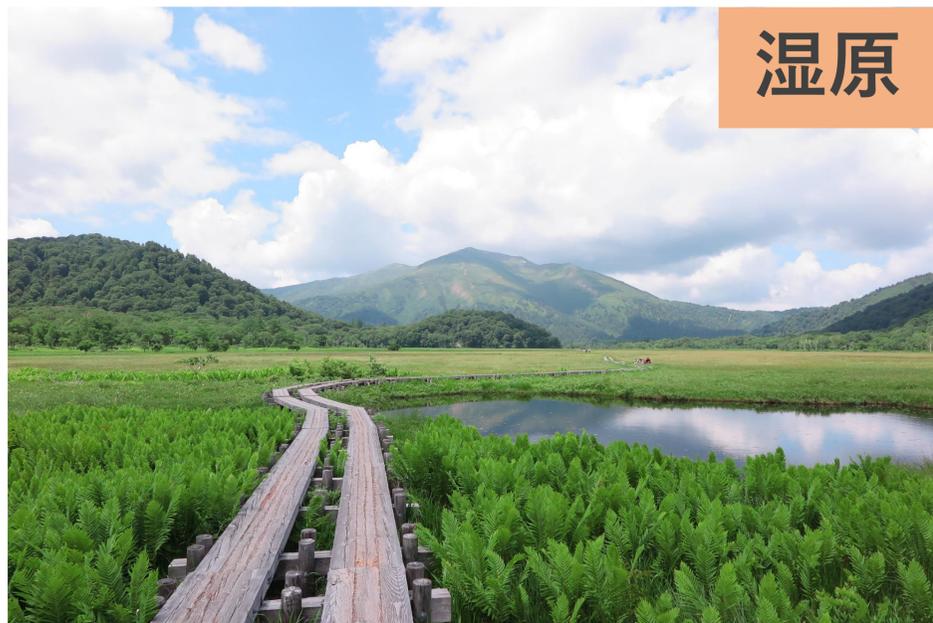
森林

森林の生態系は、尾瀬で最も広い範囲を占め、植生、地形などの変化に富んでいます。ブナやミズナラを中心とした広葉樹林帯、オオシラビソを中心とした針葉樹林帯など、森林生態系の中でも様々な植生を有し、多くの生き物が生息しています。



高山

高山の生態系は、燧ヶ岳の山頂部や至仏山が該当し、強風や低温など、厳しい気象条件のもと育まれます。高木が発達せず、可憐な花を咲かせる植物が多く生育し、多様な昆虫が花を訪れます。岩場には鳥や哺乳類(オコジョなど)のすみかもあります。



湿原

湿原の生態系は、貧栄養な泥炭*を基盤としています。ミズゴケを主体とした植生で、ミズバショウやニッコウキスゲなどの数多くの草花が咲き誇ります。食虫植物などの自己で栄養を取る種も生育しています。

*泥炭・・・枯れた植物が腐りきらずに堆積した物。



水域

水域の生態系は、沢や川などの流水環境や、尾瀬沼や湿原に点在する池塘などの止水環境があります。尾瀬は積雪や降水量が多く、水が豊富であるため成り立つ環境です。水鳥・イワナ・イモリ・トンボ類・水草など様々な生き物が生息、生育します。

多様な生態系＝生物多様性が豊か

生き物は森林や高山など、それぞれの生態系に依存しているだけでなく、複数の生態系を横断して生活するなど、お互いにつながり、支えあって生きています。多くの生態系が存在することで、豊かな生物多様性が保たれます。